

## COOKING DEVICE

**Publication number:** JP2230026

**Publication date:** 1990-09-12

**Inventor:** TAGA YOSHIHITO; KATSUHARA HIROTOSHI;  
KAIUSHI AKIRA; OZAKI YOSHIFUMI

**Applicant:** SANYO ELECTRIC CO; TOKYO SANYO ELECTRIC  
CO

**Classification:**

- **International:** F24C7/08; F24C7/08; (IPC1-7): F24C7/08

- **European:**

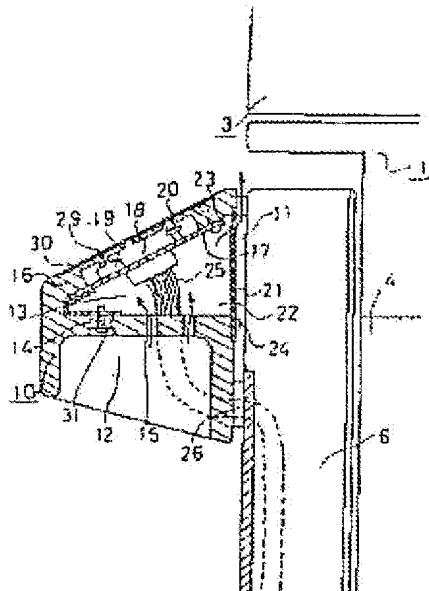
**Application number:** JP19890047818 19890228

**Priority number(s):** JP19890047818 19890228

[Report a data error here](#)

### Abstract of JP2230026

**PURPOSE:** To enlarge the capacity of a cooking chamber without impairing the controllability by controls by fitting switches and the like for the control in the handle of the door provided on the front of the cooking chamber. **CONSTITUTION:** A cooking chamber has its opening 4 on the front; this opening 4 is fitted with a door 6 which vertically opens. In a groove 18 for casing opened in the top wall 16 of a handle 10 is provided a control board 17 on which a plurality of switches 19, 19,... for the control, LED lamps 20, 20,... for indication, and the like, are mounted. An opening 22 of a chamber 13, facing the door 6, is closed by a cover plate 21 which has a ventilating hole 23 in the upper part and is fixed to the handle 10 by means of screws 24. Leads 25 electrically connecting the control board 17 and the circuit in the main body 1 of the cooking device are passed through a joining part 26 between the handle 10 and the door 6 at the right or left of the handle 10, passed inside the door 6, and led into the main body 1 of the cooking device through an inlet 28 opened near a hinge of the main body 1.



Data supplied from the [esp@cenet](mailto:esp@cenet) database - Worldwide

## ⑫ 公開特許公報 (A)

平2-230026

⑬ Int. Cl.<sup>5</sup>  
F 24 C 7/08識別記号  
3 4 0府内整理番号  
6744-3L

⑭ 公開 平成2年(1990)9月12日

審査請求 未請求 請求項の数 2 (全3頁)

⑮ 発明の名称 調理器

⑯ 特願 平1-47818

⑰ 出願 平1(1989)2月28日

⑱ 発明者 多賀 善仁 鳥取県鳥取市南吉方3丁目201番地 鳥取三洋電機株式会社内

⑲ 発明者 勝原 博利 鳥取県鳥取市南吉方3丁目201番地 鳥取三洋電機株式会社内

⑳ 発明者 飼牛 明 鳥取県鳥取市南吉方3丁目201番地 鳥取三洋電機株式会社内

㉑ 発明者 尾崎 好文 鳥取県鳥取市南吉方3丁目201番地 鳥取三洋電機株式会社内

㉒ 出願人 三洋電機株式会社 大阪府守口市京阪本通2丁目18番地

㉓ 出願人 鳥取三洋電機株式会社 鳥取県鳥取市南吉方3丁目201番地

㉔ 代理人 弁理士 西野 卓嗣 外2名

## 明細書

## 1. 発明の名称 調理器

## 2. 特許請求の範囲

(1) 調理器本体の前面に調理室の開口を開閉する扉を装着したものにおいて、この扉の前面適所に把手を装着すると共に、この把手に一体的に操作用のスイッチ等を装着する事を特徴とする調理器。

(2) 上記調理器本体を床置型に構成すると共に扉を縦開きに構成し、かつ上記把手を扉の前面上部に装着した事を特徴とする上記第1請求項記載の調理器。

## 3. 発明の詳細な説明

## (イ) 産業上の利用分野

本発明は電子レンジ、オープンレンジ等の調理器に関する。

## (ロ) 従来の技術

上記調理器で、主に床置型では調理室内の大容量化の傾向であるが、器具本体の幅寸法、高さ寸法等はほとんど決まっており、調理室内の容量を

大きくするとこれに比例して扉も大型となり、かつ上記床置型では一般的にオープンの上方にコンロを配置する為、操作部の取付けスペースの確保が難しい。

そこで例えば特開昭63-101629号公報にて示されるレンジでは、上記オープン用とコンロ用の操作部を1ヶ所に集中して配置しているが、操作部を器具本体の前面右側部に位置して配置している為、オープン用調理室の幅寸法を大きくできないと共に、操作部が比較的低い位置となり、操作性が悪いという問題がある。

## (ハ) 発明が解決しようとする課題

本発明は操作部の操作性を損なわず調理室の大容量化を計る事を目的とする。

## (ニ) 課題を解決するための手段

本発明は調理器本体の前面に調理室の開閉する扉を装着したものにおいて、この扉の前面適所に把手を装着すると共に、この把手に一体的操作用のスイッチ等を装着して成り、又調理器本体を床置型に構成すると共に扉を縦開きに構成し、かつ

把手を扉の前面上部に装着して成るものである。

#### (ホ) 作用

操作用のスイッチ等を扉の前面に装着した把手に装着した事で、調理室の大容量化を計る事ができると共に、調理器本体を床置型に構成し、かつ扉を縦開きに構成して、この扉の前面上部に把手を装着し、この把手に上記スイッチ等を装着する事で、これらの操作性を確保できるものである。

#### (ヘ) 実施例

本発明の実施例を先ず第1図及び第2図に基づき説明すると、(1)は床置型の調理器本体で、上部にシステムキッチンの天板(2)に装着するドロップイン式のコンロ(3)を一体的に装着していると共に、内部に前面を開口(4)した調理室(5)を区画形成し、かつ上記開口(4)にはこれを開閉する縦開きの扉(6)を装着している。

上記コンロ(3)は上面に複数のコンロバーナ(7)(7)…を配置していると共に、内部中央にグリル(8)を設け、かつ前面の上記グリル(8)の左右両側に複数の操作摘み(9)(9)…を装着している。

(6)への取付け部分(26)を介した後、扉(6)内を通して、その後調理器本体(1)のヒンジ(27)に近接して穿設した通し穴(28)(第2図参照)を介して調理器本体(1)内に導いている。

(29)(29)…は上記スイッチ(19)(19)…を操作する弾力性のある押圧片で、上記上面壁(16)に一体形成している。(30)は上記収納溝(18)の上面を被覆するパネルシート、(31)は上記操作基板(17)を固定する固定金具である。

尚上記実施例では把手(10)の上面壁(16)を斜め上方に向いているが、更に略垂直に近い角度に構成してもよく、これにより上記パネルシート(30)上への物の落下によるスイッチ(19)(19)…の誤操作及び損傷等を防止することができる。

而して扉(6)の開閉に際しては、把手(10)の掛け溝(12)内に手を掛けて行い、又調理に際しては、扉(6)を閉じた状態にて把手のスイッチ(19)(19)…を、パネルシート(30)の上より操作すれば、従来通り行なえるものである。

#### (ト) 発明の効果

る。

(10)は上記扉(6)の前面上部に、通気用の間隙(11)を置いて装着した把手で、第3図にても示す様に下面の略中央部分に、手をはめ込む為の掛け溝(12)を一体的に形成していると共に、上方内部に収納室(13)を区画形成し、かつこの収納室と上記掛け溝(12)とを区画する仕切壁(14)に通気用の通孔(15)(15)…を穿設し、又上面壁(16)を斜め前面上方に向け傾斜している。

(17)は上記把手(10)の上面壁(16)に穿設した収納溝(18)内に装着された操作基板で、操作用の複数のスイッチ(19)(19)…及び表示用のLEDランプ(20)(20)…等を装着している。

(21)は上記収納室(13)の扉(6)対向面に設けられた開口(22)を閉塞する蓋板で、上部に通気用の通気孔(23)を穿設していると共に、ビス(24)にて把手(6)に固定している。

(25)は上記操作基板(17)と調理器本体(1)内の回路とを電気的に接続するリード線で、第4図にても示す様に上記把手(10)の右(又は左)端の扉

本発明による構成により、操作用のスイッチ等を調理室前面に設けられた扉の把手に装着した事で、調理器本体の前面に上記スイッチ等の取り付けスペースを確保する必要がなく、これにより例えば調理器本体の前面全体を扉で構成する事もでき、調理室内の容量を大型化する事ができる。

又調理本体を床置型に構成すると共に、上記扉を縦開きに構成し、かつこの扉の前面上部に把手を設け、この把手にスイッチ等を装着する事で、調理室の位置を上方に移行することもでき、調理室内への被調理物の出し入れ操作、並びに上記スイッチの操作性を向上することができる。

#### 4. 図面の簡単な説明

第1図は本発明の正面図、第2図は同じく斜視図、第3図は同じく要部の側面縦断面図、第4図は同じく側面概略図である。

(1)…調理器本体、(4)…開口、(6)…扉、

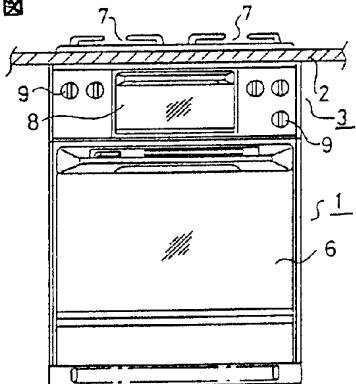
(10)…把手、(19)(19)…スイッチ。

出願人 三洋電機株式会社 外1名

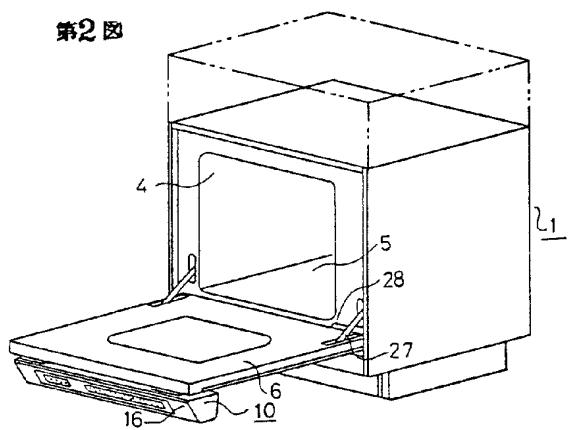
代理人 弁理士 西野卓嗣(外2名)



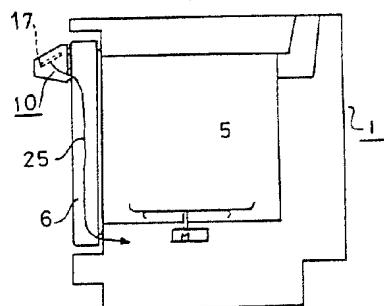
第1図



第2図



第3図



第4図

